



Society5.0 へ向けた 検討課題

話題提供 『人材育成』

電機連合 山中しのぶ

現場の変革

- **働き方の面から見た現場の変革**
 - 場所と時間に拘束されない働き方があたりまえ
 - 働く場所や時間の柔軟化が容易になり、両立しやすい状況に（テレワーク、在宅勤務）
 - 仕事はグローバルに展開
- **障がい者や高齢者の働く場を広げる**
 - 勤務場所への移動が不要あるいは近距離化
 - 健常者や若者との差が縮小

現場の変革

- **働く人にはスキルチェンジが求められる**
 - 現場で働く人にとって、IT機器が使いこなせないと何もできない
 - IT技術者にとって、業務がわからないとAIやIoTの活用を提案できない



現場で働く人とIT技術者側の歩み寄りが必要

- 現場で働く人にとって、AIやIoTがわからないと業務への導入の可能性さえ考えられない
- AIやIoTに対する知識が少ないと、「AIやIoTを使えばなんでもできる」と思う(幻想と恐怖につながる)

- **経営者にはマインドチェンジも求められる**
 - 単なる新しもの好きでは困る
 - なぜ、何のためにA I や I o T を使うのか？

電機連合の取り組み

時代背景（1990年代後半～2000年代初頭）

社会・経済の変化	企業の変化	個人の変化
<ul style="list-style-type: none">・ITバブル崩壊・競争激化、産業構造の変化	<ul style="list-style-type: none">・業績悪化・工場を海外へ移転・高付加価値を生む人材を要求	<ul style="list-style-type: none">・求められる能力の変化・就労意識の多様化

2005年 電機産業職業アカデミー設置

組合員支援

キャリアデザインセンター

- ・ カウンセラーによる電話相談
- ・ 電機連合加盟組合の組合員、家族(配偶者・子)も利用可

大手企業研修講座

- ・ 電機連合加盟組合の企業の能力開発講座を組合員に開放
- ・ ものづくり、営業・経営、IT、管理事務、ヒューマンスキルなど分野は多岐にわたる

採用情報の提供

- ・ 電機連合加盟組合の企業の通年採用・キャリア採用などのWEBページへのリンク集を作成

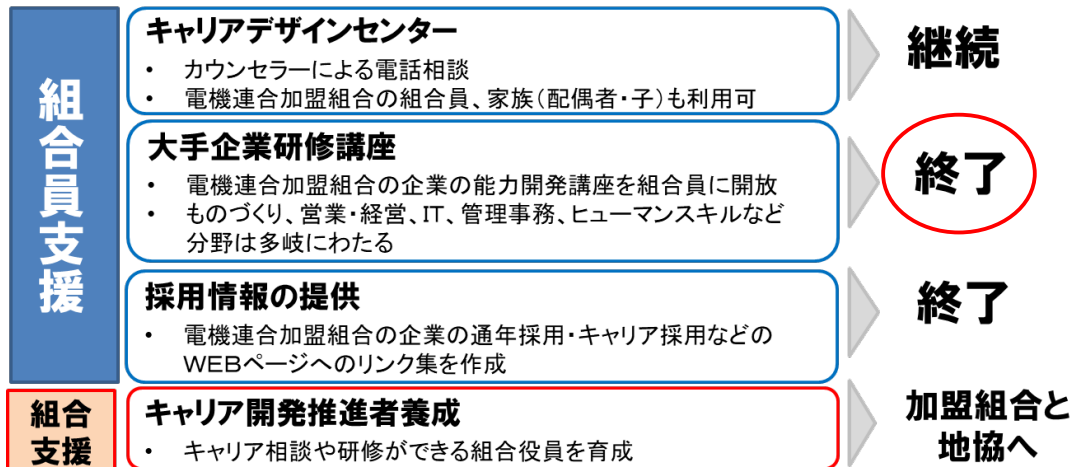
組合支援

キャリア開発推進者養成

- ・ キャリア相談や研修ができる組合役員を育成

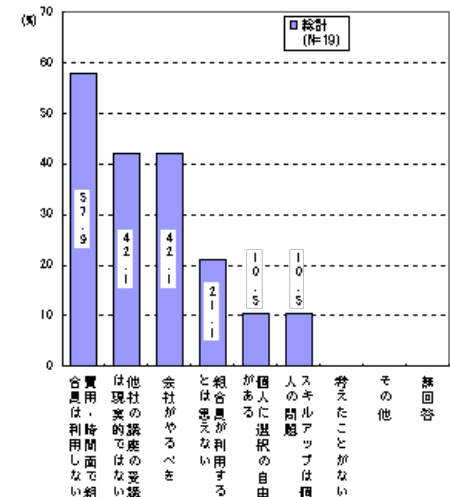
電機連合の取り組み

取り組みの必要性について認識はされていたが、
職業アカデミーとしての取り組みは2012年で終息することを決定



Q : 「大手企業研修講座の受講」の支援に取り組む必要はないと考える理由(複数選択) (総計)

「費用・時間面で組合員は利用しない」がほぼ6割、「他社の講座の受講は現実的でない」や「会社がやるべき」が4割台で続いている



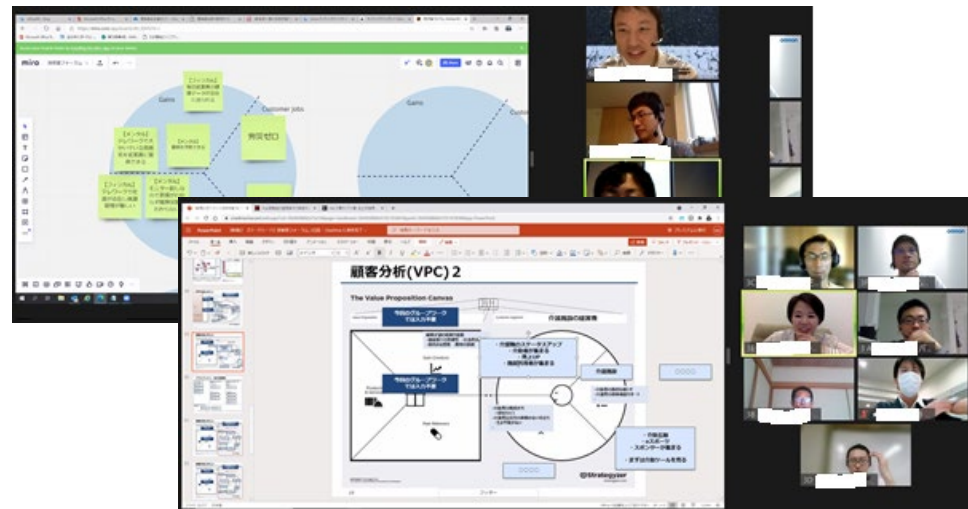
電機連合の取り組み

■ 技術者フォーラム（電機連合が主催する業界横断の研修）

目的：電機産業で働く組合員同士が企業の枠を超えて、電機産業や科学技術の将来について語り合い、今後何をすべきかといった気づきを得ていただく

参加者：20～30社、50人程度の技術者

日程：一泊2日



<課題>

- ・参加者が大手企業、男性中心
- ・積極的参加者の減少
- ・WEB開催により、日頃の課題などを話し合う隙間時間の減少

人材育成に関する課題

- 労働者は常に自身の能力開発・スキルの習得に努める必要があるが、現在の社会制度では、働きながら学び続けることはハードルが高い。
 - 壁となっているのが「費用」と「時間」
 - 自社で教育を実施できる企業は一部
- 企業の枠を超えた能力開発の場の必要性は認識するものの、そのような場は少ない。

注目する取り組み

○シビックテック

シビックテック（Civic Tech）とは、シビック（Civic：市民）とテック（Tech：テクノロジー）を掛けあわせた造語。市民自身が、テクノロジーを活用して、行政サービスの問題や社会課題を解決する取り組みをいう。

▶ 一般社団法人 コード・フォー・ジャパン

<https://www.code4japan.org/>

- ・テクノロジーを活用して社会課題や地域課題の解決をめざす非営利団体として2013年に設立。新型コロナウイルス感染症対応や災害時対応、地域活動において様々なツールを開発。

○プロボノ

「プロボノ」とは、「公共善のために」を意味するラテン語「Pro Bono Publico」を語源とする言葉で、【社会的・公共的な目的のために、職業上のスキルや専門知識を活かして取り組むボランティア活動】を意味する。

▶ 認定NPO法人サービスグラント

<https://www.servicegrant.or.jp/>

- ・社会的活動を行うソーシャルセクターの課題に対し、職業上の知識や経験を持つ多彩な人々による「プロボノ」での支援をコーディネート。

注目する取り組み

○ドイツの金属産業別労組IGメタル

- 政府と協力して『「ワーク+イノベーション」プロジェクト』として、職場の代表者を対象とした最新のIndustrie4.0の技術を学ぶプログラムを立ち上げた。
- Industrie4.0の新しい技術がどういうものであるのか、どのように応用することができるのか、などをテスト工場での実習を交えて、学ぶことができる。
- これによって、経営側からの新しい技術の現場への導入提案を正しく理解し協議することができるようになり、さらには、現場目線での新技術導入提案につながることを期待されている。



Society5.0が目指す社会

Society 5.0とは

サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会

- ・ 社会課題の解決は、技術視点より、生活者の視点が重要。
- ・ 一人一人が快適で活躍できる社会とは、誰かが与えてくれるものではなく、自分たちで創り上げていくものである。

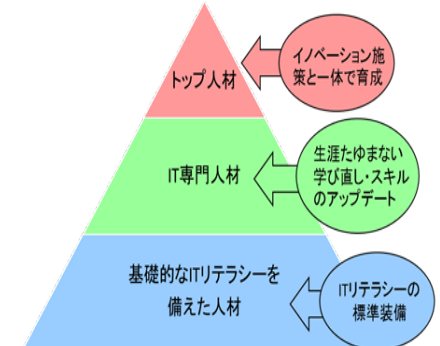
話題提供



- Society 5.0が目指す社会において、求められているのはどのような社会にしたいかを創造し、社会課題を解決する人材。現時点の人材育成は、受講者に偏りがあり、リソースが分散されている。
- 人材育成について、全体戦略で考える必要があるのではないか。

- ・ **だれに** 一般の人、技術者、専門家…
- ・ **だれが** 企業、学校、国、労働組合…
- ・ **どこで** 大学、企業、訓練センター…
- ・ **何を** 専門知識、一般知識、基本知識…

第4次産業革命の下で求められる人材



出所：経済産業省「平成29年度 通商白書」をもとに電機連合作成